

## 令和6年度 第1回 香川県公共事業評価委員会 議事録

1. 日 時：令和6年7月12日（金） 9時00分～12時00分
2. 場 所：アイパル香川（香川国際交流会館） 4階 第5、6会議室
3. 出席者：委員（敬称略）
  - 委員長 白木 渡（香川大学 名誉教授）
  - 副委員長 末永 慶寛（香川大学創造工学部 教授・学部長）
  - 委員 佐藤 好美（佐藤好美建築工房 主宰）
  - 池田 弘子（(株)人間科学研究所 所長）
  - 福村 晃一（香川大学経済学部 准教授）
  - 國村 一郎（(一社)香川経済同友会 専務理事）
  - 玉置 哲也（香川大学創造工学部 准教授）

（全委員7名出席）

### 4. 議 事

#### (1) 事後評価対象計画

下記の6計画について、事業主体が自ら行った事後評価の妥当性を審議した。

- ①社会資本総合整備計画 生活に密着した道路整備による快適なくらしづくり  
[事業主体：香川県他4市町]
- ②社会資本総合整備計画 道路整備による災害に強い県土づくり  
[事業主体：香川県他2市]
- ③社会資本総合整備計画 高速道路の休憩施設を拠点とした地域の活性化、  
賑わいの再生づくり [事業主体：さぬき市]
- ④社会資本総合整備計画 総合的な浸水対策の推進（防災・安全）  
[事業主体：香川県他7市町]
- ⑤社会資本総合整備計画 総合的な土砂災害対策の推進（防災・安全）  
[事業主体：香川県他10市町]
- ⑥社会資本総合整備計画 香川県における大規模盛土造成地の耐震化の促進  
（防災・安全） [事業主体：香川県・高松市]

#### (2) 事業別審議結果

各計画の事業効果の発現状況として、計画番号①～⑥について、「一定の効果があつた」と事業主体が評価したこと、また計画番号①②④⑤について「継続する」とした計画について「概ね妥当である」との意見を付す。委員からの主な意見は、以下のとおり。

- ・ 道路拡幅事業の継続にあたっては、今後も進捗状況等の情報を地元住民と共有し、利用者の理解が得られるよう考慮されたい。（計画①）

- 定量的指標（安全通行確保率）の考え方がわかり難いので、一般の住民にもわかりやすいよう工夫が必要。（計画②）
- 地域の防災訓練にハザードマップを利用し、地域住民に危機意識を持ってもらうのは非常に重要。（計画⑤）

— 以上 —